

教材開発と学習指導の命題

教材開発における命題群の事例（西之園版）

「学習ガイドブック 教育の技術と方法」を開発する過程で、メモしておいた命題の一覧である。未整理なところ、重複しているもの、矛盾するものなどもあるが、教材開発を重ねながら精選していく予定である。

番号	命題
1	設計が明確になされているならば、チームのメンバーが作業を分担することによって効率的に作品を制作することができる。
2	チーム学習から個人学習、あるいは個人学習からチーム学習へと円滑かつ発展的に学習が進行するためには、学習者同士が学びに対して開かれていることが重要である。
3	チームで協力するプロジェクトを形成するためには、イメージから出発することが合意形成に有効であるが、この場合に修正しやすいように図式と概念を用いながら抽象的なイメージとして展開することが効果的である。
4	初期の段階(イメージ段階)で、チーム作業に十分な時間をかけてできるだけ共有できる成果をパネル発表などで明確にし、さらに個人のレポートを書かせて報告することは、その後のチームの課題と個人の課題との切り分けをはっきりとさせるのに有効である。
5	チームの課題と個人の課題との関連を明確にすると、チーム作業に不適応を引き起こしている学習者にチーム作業に参加する機会を提供する。
6	チーム学習においてメンバー間でのアイコンタクトができるような状況では、お互いのコミュニケーションに優れているが、話し合いに終始して具体的な成果を生まないことが多い
7	チーム学習において成果物を中心に話し合いができ、メンバー間でのアイコンタクトができないよう場面を設定すると、具体的な成果を生むことができる。
8	多人数学習において学習集団毎にチームが集まって発表することは、発表の規模を適正に保つことができ、効果的な発表ができる。
9	学習目標の自己管理モジュールの活用方法についてはできるだけ早い段階でマスターすることがその後の学習に有効である。
10	完成した作品をお互いに発表し合うことは自分の作品を評価することに有効である。
11	パワーポイントの具体的な画面を作成するにあたって、あらかじめ模造紙を使ってチーム作業で設計することが効果的である。
12	学習者が学びに対して開かれるためには、知らないことやできないことを他の人に理解しておいてもらうことが効果的である。
13	学びに対して開かれるためには「無知の知は最高の知である」ことを自覚することが効果的である。
14	実態について記述する方法として、イメージ、写真、ビデオなどの具象的な方法と、モデルや説明命題などのように抽象的な方法があることを対比的に示すことは、モデル化や命題化の意義を理解するのに有効である。
15	自分が経験した学校、教師、授業のイメージからスタートして、理想とする学校、教師、授業のイメージへと関連付けることによって学習することの意味付けが可能になる。
16	「今週のテーマ」では、先週のテーマとの継続性と来週のテーマとの発展性に位置付けて課題を提示することが、学習の意味付けにおいて有効である。
17	教育方法および技術の教育においては、学校時代に自分が経験した授業についてのイメージから出発すると、学習内容を現実の問題に関連付けることができる。
18	最終報告書の提出先を、指導教官ではなく、第三者、たとえば教育委員会あるいは学習指導コンテストなどにすることによって、指導教官の指摘がより有効に機能する。
19	今週の学習課題を遂行するにあたって、先週の学習課題と次週の学習課題を提示することによって、学習内容に連続性をもたらせることは学習の意味を理解するのに有効である。
20	最終成果への見通しをもつためには先行する授業での最終成果の具体例を参照することが有効である。
21	学習成果が自分の内面において発展的に形成されていることを実感することは、学習の意味を見出すのに有効である。
22	最終レポートのイメージを持つためには、先行する授業でのレポートを例示することが有効である。
23	学習を意味あるものにするには、学習内容と関連のある過去の経験から授業を始めることが有効である。
24	学習目標が明確でチームの課題遂行性が強い場合には、教師の監視のない教室外でも学習は円滑に進行する。
25	学びの共同体が円滑に機能するためには、その共同体のルールが明確に示されている必要がある。
26	1人の学生の質問がクラス全体にも共通すると考えられるときに、その質問を全体に紹介することが学習を混乱させることがある。
27	自律的に学習することを自覚するためには、教室外での学習を認めることが有効である。

28	主体的な学習ができるためには、学習についての枠組みを毎週繰り返し与えて、学習するときに配慮すべき項目を想起することを習慣化することが有効である。
29	学びの共同体の成立基盤として、学ぶとは「知らないことを知る」あるいは「できないことができるようになる」とことであることをお互いに認識して、自分の無知あるいは無能を恥ずかしがらないような雰囲気を形成することが効果的である。
30	自分で主体的に学習しなければならない授業において、学習の見通しが立ちにくい場合には、当該の授業を設計したときのイメージと授業の進行状況を早期に提示すること(PowerPoint を用いたイメージ)が有効である。
31	チーム学習に集中できる場合には、固定した机の配置でも工夫して学習は支障なく進行する。教室外で学習することの特にメリットがなければ、やがては教室で学習するようになる。
32	課題遂行型の学習では、チーム学習というよりもプロジェクト・チームという概念のほうが協力体制を形成するのに有効である。
33	学習者の依存心を改善するために、学習成果への期待を強調することは、自律的学習を促すのに有効である。
34	学生が問題の解決あるいは解答の正当性を教師の権威に求めるときは、直接に応えずに押し返して、自分あるいはチームのメンバーに求めるようにすることは、自律性を高めるのに有効である。
35	自律的学習が成立するためには、学習の早い時期に自分が参加している学習の共同体の構造を理解することが重要である。この授業での学習の構造はMACETO として表現されている。
36	自律的な学習が進展するためには、コース全体の見通しをもてるような課題設定が有効である。
37	学習が主体的に進むためには、提供する情報を制限して自分達で情報を収集できるような環境を利用できるようにすることが有効である。
38	「学習とは、自分にまだ出来ないことが出来るようになること」あるいは「学習とは、知らないことを知るようになること」という認識のもとに、出来ない自分あるいは知らない自分を集団の中で認め合うことは、学習に対してのお互いの協力と信頼感を醸成するのに有効である。
39	多人数の学生(1999 年度は158 名、2000 年度は228 名)が主体的に学習する授業を実現するためには、チームと学団の考え方を用いて集団を構成し、学習集団への参加意識を形成し、学習に自己責任を認識させることが有効である。
40	チーム学習を円滑に進めるためには、チームを形成するときにメンバーの背景を知ってお互いに理解することが重要である。
41	自分の学習成果は、チームの他のメンバーによって支えられて進展することを意識することは、チームの協力体制を形成するのに有効である。
42	評価する人を、教師に集中させるよりも、学習者自ら、友人あるいは班のメンバーならびに教師というように評価の責任を分散することによって、教師への一方的な依存を軽減することができる。
43	評価対象となる最終レポートの作成を、教師への報告というよりも社会的に通用する報告書作りという枠組みで進めたほうが、レポート作成に真剣に取り組む。
44	自己評価ならびにチーム内での相互評価を信頼度の高いものにするためには、評価基準を明確に示して、長期にわたって評価を実施して習慣化することが重要である。
45	「教える教育」においては教育目標と指導計画が重要であり、教育成果はテストによって評価され、「学ぶ教育」においては、学ぶ意味から出発し学習計画が重要であり、学習成果はポートフォリオによって評価されることを対比することは、両者の特徴を理解するのに有効である。
46	授業の最終目標を明確にするためには、最終のレポートのテーマと評価基準と評価方法をコースの早い時期に提示することが有効である。
47	方略A：学習内容と方法を学習者にまかせて自由度を大きくすると、学習成果(最終作品、報告書、レポートなど)は優れたもの(独創的な作品やレポートなど)と劣ったもの(おざなりなレポートなど)との格差が大きくなる。
48	方略B：学習内容と方法の自由度を小さくすると平均的な学習成果が期待できるが独創的成果は少なくなる。
49	方略C：独創的な学習成果を期待しながら、劣った学習成果の数を少なくするために学習過程に特別の内容と方法の配慮が必要である。
50	学校、教師、授業に対するイメージか個人によってかなり異なる場合、そこから共同学習をスタートするためにはできるだけ概念的なレベルになるように議論を展開して共同理解に達し、その後にしたいに具体的なイメージへと進めるようにすることが効果的である。
51	学習設計の指導にあたって、絵イメージ、概念(キーワード)と図式表示、モデル化、仮説命題の生成という系列によって指導することによって、仮想授業の設計能力を形成することが可能である。
52	主体的学習を回復するためには、学習内容を習得するような授業(教科教育)の設計に先立って、主体的な学習活動が成立するような授業(調べ学習、総合的学習、あるいは学校行事など)の枠組みを適用することに集中するのが有効である。
53	イメージからモデル化へと発展するためには、イメージを作成したのちに、学習風景を撮影したビデオを視聴して記録し、カテゴリーから概念(キーワード)と図式表示へと進むプロセスを経験することが有効である。
54	イメージからモデル化へと発展するためには、自分が具体的に経験したことを、キーワードならびに図式で表現することを繰り返すことによって、対象とする活動の関連あるいは時間的経過をモデル化する。
55	主体的な学習を実現するためには、学習に対する態度を育成することが重要である。そのような態度育成のためには、学習を組織化することを求める同じ枠組み(この事例ではMACETO モデル)による行

	動を反復して要求することが有効である。
56	授業設計においてイメージから概念へと図式表示し、さらにモデル化へと変容することが必要であるが、この系列を連続的に変容させることは困難である。とくにモデル化ができるようになるためには飛躍が必要である。
57	「教える教育」と「学ぶ教育」との対比をモデルとして示すことは、両者のアプローチの違いを鮮明にするのに有効である。
58	協力して授業を設計するときに共通理解に達するためには、具象的なイメージよりも修正しやすい抽象的なイメージの方が有効である。
59	イメージとモデルの違いを理解するためには、両者を含んだ具体的な事例についてチームで討議することが有効である。
60	学校は学びを教育的に組織した共同体であり、その成果が社会的に認知されることを期待されている機関であることを理解することが、学校の公共性を認識するのに有効である。
61	自律的学習の経験のない学習者が主体的な学習に取り組むことができるようになるためには、学習の初期の段階で学習内容を最小限にとどめて、チーム討議など学習の方法を習得できるようにすることが、以降の学習を効果的にするために有効である。
62	チームの編成にあたっては介護実習や教育実習の期間を考慮することは重要である
63	チームメンバーの相互理解を促進するためには、早い段階で他者紹介を実施することが効果的である。
64	教材が未完成であることを公言し、受講者と協力して開発していることを実感することは、学習への参加意識を高めるのに有効である。
65	情報教育を自律的に学習するような授業を実現するためには、情報社会に生きていることを実感できるような学習内容から始めることが大切である
66	情報社会に生きていることを実感するためには自分の将来との関連を考えて意味づけることが効果的である。
67	属人的教育技術とは、学習者の学びの質を追求することができ私の行為である
68	チーム学習で行き詰ったとき、チームを再編成すると事態をさらに悪化することがある
69	チーム学習において初対面あるいはあまり親しくない人が含まれている時は、お互いに長所を紹介するゲームをすると自己紹介よりも和やかになる
70	チーム学習によって知識創造の授業を目指したとき、少人数の授業では行き詰ったときに回復が困難であるが多人数であれば回復しやすい
71	学習者の内的条件を整えることによって、不十分な外的条件を克服して主体的な学習を実現することが可能である。
72	情報を共有することによって問題解決できるゲームを実施することはチームの一体感を促進するのに有効である
73	明示知として表現できる教育技術は、図式モデルと命題の集合として記述できる
74	チーム学習に求められる資質は、学校組織を運営するにあたって最も基本的な能力である
75	教授者にとっての教科内容の系統性よりも学習者にとっての学ぶ意味の継続性を重視する
76	同じメンタルモデルが形成されるのに必要なエネルギーと時間は、個人によって大きく異なる
77	学習事象は図式モデルおよび/あるいは命題によって記述可能である
78	学習者の興味関心は教授者の導入によって決定される
79	教育方法学の授業はチーム学習の学習事象で構成されている
80	教授者は将来において有効に機能することを意図して特定の学習事象をあらかじめ埋め込むが、それがうまく機能するかどうかは個人差がきわめて大きい

This is a list of propositions that were written down in the process of developing the 'Study Guidebook: Techniques and Methods of Education'. Some are unorganised, some overlap and some are contradictory, but we plan to refine them as we continue to develop the teaching materials.

No.	Proposition
1	If the design is clear, team members can produce the work efficiently by sharing the work.
2	It is important that learners are open to learning in order for learning to progress smoothly and developmentally from team learning to individual learning and from individual learning to team learning.
3	In order to form a team project, it is effective to start from an image and to develop it as an abstract image, using diagrams and concepts that are easy to modify.
4	In the initial phase (image phase), it is effective to spend sufficient time on team work to clarify the results that can be shared as much as possible through panel presentations, etc., and to have the participants write and report on their individual reports, in order to clarify the separation between team tasks and individual tasks in the following stages.
5	Clarifying the link between team tasks and individual tasks provides an opportunity for learners who are causing maladjustment to team work to participate in team work
6	Situations in team learning where eye contact is possible between team members are excellent for mutual communication, but often result in discussions that do not produce tangible outcomes.
7	When a situation is set up in team learning where the discussion is centred on the deliverable and eye contact between members is not possible, concrete results can be produced.
8	In multi-team learning, teams come together in each learning group to present their work, which helps to keep the size of the presentation appropriate and effective.
9	It is useful for subsequent learning to master the use of the self-management module of the learning objectives as early as possible
10	Presenting completed work to each other is an effective way of evaluating one's own work.
11	It is effective to design the specific screens of the PowerPoint presentation in advance, using imitation paper and working in teams.
12	It is effective for learners to have others understand what they do not know or cannot do in order for them to be open to learning
13	To be open to learning, it is effective to be aware that 'ignorance is the best knowledge'.
14	Contrasting concrete ways of describing reality, such as images, photographs and videos, with abstract ways, such as models and explanatory propositions, is useful for understanding the significance of modelling and propositionalising.
15	It is possible to make sense of learning by starting with images of schools, teachers and classes that you have experienced and relating them to images of ideal schools, teachers and classes.
16	In the 'theme of the week', it is effective in making sense of learning to present the task in terms of continuity with last week's theme and in terms of development with next week's theme.

17	In the teaching of teaching methods and techniques, it is possible to relate the learning content to real problems if one starts from an image of a class that one has experienced during one's school years.
18	The points made by the supervisor are more effective if the final report is submitted to a third party, e.g., a school board or a learning and teaching contest, rather than to the supervisor.
19	In carrying out this week's learning task, it is useful to provide continuity in the learning content by presenting last week's learning task and the next week's learning task, so that the students understand the meaning of the learning.
20	It is useful to refer to concrete examples of the final outcome in previous lessons in order to have an outlook on the final outcome.
21	Realising that the learning outcomes are being developed in one's inner self is useful for finding the meaning of learning.
22	In order to have an idea of the final report, it is useful to give examples of reports from previous lessons.
23	To make the learning meaningful, it is useful to start the lesson with past experiences that are relevant to the learning content.
24	Learning proceeds smoothly outside the classroom without teacher supervision when the learning objectives are clear and the team is on task.
25	For a learning community to function smoothly, the rules of that community need to be clearly stated.
26	Introducing one student's question to the whole class when it is considered common to the whole class is disruptive to learning.
27	Allowing students to learn outside the classroom is useful to make them aware that they are learning autonomously.
28	To enable independent learning, it is useful to give students a framework for learning repeatedly each week and to make it a habit to recall items to be considered when learning.
29	As a basis for establishing a learning community, it is effective to form an atmosphere in which people recognise that learning means 'knowing what you don't know' or 'being able to do what you can't do' and are not ashamed of their own ignorance or incompetence.
30	In classes in which students have to study independently, it is effective to present the image of the class in question when it is designed and the progress of the class at an early stage (image using PowerPoint), if the prospects for learning are not clear.
31	If the students can concentrate on team learning, learning can proceed unimpeded, even with a fixed desk arrangement. If there are no particular advantages to learning outside the classroom, learning will eventually take place in the classroom.
32	In task-oriented learning, the concept of project teams rather than team learning is more effective in forming a cooperative system.
33	Emphasising expectations of learning outcomes in order to improve learner dependence is effective in encouraging autonomous learning.
34	When students look to the teacher's authority for the solution of a problem or the justification

	of a solution, it is useful to push back and look to themselves or their team members instead of responding directly to them, in order to increase autonomy.
35	For autonomous learning to be established, it is important to understand the structure of the learning community in which one participates at an early stage of learning. The structure of learning in this lesson is represented as MACETO.
36	In order for autonomous learning to progress, it is useful to set tasks that give a perspective on the course as a whole.
37	In order for learning to progress independently, it is useful to limit the information provided and to make available an environment in which students can gather information on their own.
38	Based on the recognition that "learning is learning to do what you can't do yet" or "learning is learning to know what you don't know", acknowledging your own inability or ignorance in a group is effective in fostering a sense of mutual cooperation and trust towards learning.
39	In order to realise classes in which a large number of students (158 in 1999 and 228 in 2000) learn independently, it is effective to form groups using the concepts of team and academic group, to form a sense of participation in the learning group and to make students aware of their own responsibility for learning.
40	To facilitate team learning, it is important to know the backgrounds of the members and understand each other when forming a team.
41	Being aware that one's own learning outcomes are supported and developed by the other members of the team is useful for forming a cooperative team structure.
42	Rather than concentrating the responsibility for assessment on the teacher, it can be distributed among the learners themselves, their friends or group members and the teacher, thus reducing the one-sided dependence on the teacher.
43	Learners take report writing more seriously if the final report to be assessed is prepared within the framework of a socially acceptable report, rather than a report to the teacher.
44	In order to make self-evaluation and mutual evaluation within the team highly reliable, it is important to clearly state the evaluation criteria and to make it a habit over a long period of time.
45	It is useful to contrast that in 'teaching education', educational goals and teaching plans are important and educational outcomes are assessed by tests, while in 'learning education', starting from the meaning of learning, learning plans are important and learning outcomes are assessed by portfolios, in order to understand the characteristics of both.
46	In order to clarify the final goal of the course, it is useful to present the topic of the final report, the evaluation criteria and the evaluation methods early in the course.
47	Strategy A: If the learning content and methods are left to the learner and the degree of freedom is increased, there will be a large disparity between excellent learning outcomes (e.g. final works, reports, reports) and inferior ones (e.g. lazy reports).
48	Strategy B: Reducing the degree of freedom of learning content and methods leads to average learning outcomes, but less original outcomes.
49	Strategy C: Special content and method considerations are needed in the learning process to

	reduce the number of poor learning outcomes while expecting original learning outcomes.
50	If the image of the school, the teacher and the class differs considerably from one individual to another, it is effective to develop the discussion to a conceptual level as far as possible to reach a joint understanding and then gradually to a concrete image, in order to start the collaborative learning from there.
51	In teaching the design of learning, it is possible to form the ability to design virtual lessons by teaching through the sequence of pictorial images, concepts (key words) and graphical representations, modelling and the generation of hypothetical propositions.
52	In order to restore independent learning, it is useful to concentrate on applying the framework of a lesson (e.g., research, integrated learning or school events) in which independent learning activities are established, prior to designing a lesson (subject teaching) in which the learning content is acquired.
53	In order to develop from images to modelling, it is useful to experience the process of progressing from categories to concepts (keywords) and graphical representations by watching and recording videos of the learning scene after the creation of the images.
54	In order to develop from images to modelling, the students model the relationship or time course of the activities under study by repeating the representation of their concrete experiences with key words and diagrams.
55	In order to realise independent learning, it is important to develop attitudes towards learning. For the development of such attitudes, it is effective to repeatedly require behaviour according to the same framework (in this case the MACETO model), which calls for the organisation of learning.
56	In lesson design, it is necessary to transform from images to concepts and then to modelling, but it is difficult to transform this sequence continuously. In particular, a leap is necessary to enable modelling.
57	Showing the contrast between 'teaching education' and 'learning education' as a model is useful to clarify the differences between the two approaches.
58	In order to reach a common understanding when designing lessons in cooperation, abstract images, which are easier to modify, are more effective than concrete images.
59	To understand the difference between images and models, it is useful to discuss in teams concrete examples that include both.
60	It is useful to recognise the public nature of schools to understand that they are institutions in which learning is educationally organised as a community and whose results are expected to be recognised by society.
61	To enable learners with no experience of autonomous learning to engage in independent learning, it is useful to minimise the learning content in the early stages of learning, so that they can learn how to learn, such as through team discussions, in order to make subsequent learning more effective.
62	It is important to take into account the duration of care and education training when organising teams

63	To promote mutual understanding among team members, it is effective to introduce them to others at an early stage.
64	Publicly stating that the material is incomplete and realising that it is being developed in cooperation with the participants is effective in increasing their sense of participation in the learning process.
65	In order to realise classes in which students learn information education autonomously, it is important to start with learning contents that make them feel that they are living in the information society.
66	It is effective to make sense of the relationship with one's own future in order to realise that we are living in an information society.
67	Attributive pedagogical techniques are those that allow me to pursue the quality of the learner's learning.
68	When stuck in team learning, regrouping the team can make things worse.
69	When team learning involves people who have never met or are not very familiar with each other, a game of introducing each other's strengths is more congenial than self-introductions.
70	When aiming to teach knowledge creation through team learning, it is difficult to recover when stuck in a small-group class, but easier to recover in a large-group class.
71	It is possible to overcome inadequate external conditions and achieve independent learning by creating internal conditions for learners
72	Conducting games that allow problem-solving by sharing information is effective in promoting team unity
73	Educational technology that can be expressed as explicit knowledge can be described as a set of diagrammatic models and propositions.
74	The qualities required for team learning are the most basic competences for running a school organisation.
75	The continuity of the meaning of learning for the learner is more important than the systematisation of the subject content for the teacher
76	The energy and time required to form the same mental model varies greatly from one individual to another
77	Learning events can be described by graphical models and/or propositions
78	Learners' interests are determined by the introduction of the professor
79	Methodology teaching consists of team-learning learning events
80	Although the instructor pre-embeds specific learning events with the intention of making them work well in the future, whether they work well or not depends very much on the individual.

10-3 学習権宣言

学習権宣言 (The Right to Learn)

1985年3月29日
第4回ユネスコ国際成人教育会議採択

学習権を承認するか否かは、いまやかつてないほどに、人類にとって主要な課題になっている。
学習権とは、

読み、書く権利であり、
質問し、分析する権利であり、
想像し、創造する権利であり、
自分自身の世界を読みとり、歴史をつづる権利であり、
教育の手立て(resources)を得る権利であり、
個人および集団の力量を発展させる権利である。

成人教育パリ会議は、この権利の重要性を再確認する。

学習権は、きたるべき日のためにとっておかれる文化的ぜいたく品ではない。

それは、生存の問題が解決された後にはじめて生じる権利ではない。

それは、基本的にはニーズが満たされたあとにとりあげられるものではない。

学習権は、人類の生存にとって不可欠な道具である。

もし、世界の諸人民が食糧生産やその他人間に不可欠なニーズを自給自足できることをわれわれが望むならば、世界の諸人民は学習権をもたなければならない。

もし、女性も男性も、よりよい健康を享受しようとするならば、彼らは学習権をもたなければならぬ。

もし、われわれが戦争を避けようとするならば、平和のうちに生きることを学び、互いに理解し合うことを学ばなければならない。

”学習”はキーワードである。

学習権なくしては、人間的発達はありえない。

学習権なくしては、農業や工業の躍進も地域の健康の進歩もなく、そして実際、学習条件の変革もないであろう。

この権利なしには、都市および農村における労働者の生活水準の改善もないであろう。

端的にいえば、学習権は、今日の人類にとって決定的に重要な諸問題を解決するために、われわれがなしうる最善の貢献の一つなのである。

しかし、学習権は経済発展のたんなる手段ではない。それは基本的権利の一つとして認められなければならない。学習行為は、あらゆる教育活動の中心に位置づけられ、人間行為を出来事のなすがままにされる客体から、自分自身の歴史を創造する主体に変えていくものである。

それは基本的人権であり、その正当性は普遍的である。学習権は、人類の一部のものに限定されえない。すなわち、男性、工業国、有産階級、もしくは学校教育を受けるほど十分幸運な青年たちだけの排他的特権であってはならない。本パリ会議は、すべての国に対し、この権利を実施し、すべての者が効果的にそれを行使するのに必要な条件を作るように要望する。そのためには、必要とされるすべての人

的・物的資源を利用可能にし、かつ教育制度をより公正な方向で再検討し、最後にさまざまな地域で成果をあげている方策を参考とすることが必要である。

われわれは、政府・非政府双方のあらゆる組織が、国連、ユネスコおよびその他の専門機関と協力して、世界的規模でこの権利を促進する活動をすることを切望する。

エルシノア、モントリオール、東京、パリと続いたユネスコ会議で成人教育の偉大な進歩が記録されたにもかかわらず、一方には問題の規模の大きさと複雑さがあり、他方には適切な解決策を見出す個人および集団の力量の問題があり、そのへだたりはせばめられてはいない。

1985年3月、ユネスコ本部で開かれた第4回国際成人教育会議は、現代の問題のスケールの大きさにもかかわらず、いやむしろそれだからこそ、これまでの会議で行われたアピールをくり返し述べて、あらゆる国に次のことを要請する。すべての国は、成人教育の諸活動を強力かつ明確に発展させるために断固とした想像力豊かな努力を行うべきである。そのことによって、女性も男性も、個人としても集団としても、その目的や要件や実施上の手續を自ら将来選択するであろう成人教育の発展のタイプに必要な、教育的・文化的・科学的・技術的蓄積 (resources) を、わがものとなしうるのである。

この会議は、女性と女性組織が貢献してきた人間諸関係を追求するエネルギーと方向づけを承認し賞賛する。その独自の経験と方法は、平和や男女間の平等のような人類の未来にかかる基本的問題の核心をなすものである。こういう事情ゆえに、成人教育の発展およびより人間的な社会をもたらす諸計画に女性が参加することはぜひとも必要なことである。

人類が将来どうなるかをだれが決めるのであろうか。これはすべての政府・非政府組織、個人および集団が直面している問題である。これはまた、成人教育に従事している女性および男性が、そして、個人から集団まで人類全体に及ぶすべての人々が自己および自分自身の運命をコントロールできるよう努力している女性および男性が、直面している問題である。